

人が集まるきれいなまちに「第32回市民清掃デー」を実施

6月2日(日)、市内全域で「第32回市民清掃デー」が実施され、今年も自治会などを中心に朝早くから市民など8,100人が参加しました。

地元の道路や河川、公園などで、ごみ拾いが行われたところ、可燃ごみ1,350kg、不燃ごみ1,100kgものごみが回収されました。

これからも、きれいなまちづくりの推進と、不法投棄などを見かけた際には通報にご協力をお願いします。

【不法投棄110番】フリーダイヤル 0120・536・380

- ・下妻警察署 ☎43・0110
- ・県西県民センター環境・保安課 ☎24・9127
- ・生活環境課 ☎内線1425、1426



道路沿いを清掃する市民の皆さん(高道祖地区)

7月は「社会を明るくする運動」の強化月間です

5月21日、「第63回社会を明るくする運動」法務大臣メッセージが、下妻市保護司会の飯岡会長より、稲葉市長に伝達されました。

法務大臣から委嘱を受けた保護司の皆さんは、罪を犯した人が社会に戻り再出発するためのお手伝いをする活動を行っています。罪を犯した人が立ち直るためには、地域や社会との絆が最も大切であると言われていいます。罪を犯す人のいない社会、非行をする人のいない地域づくりのためには、保護司だけでなく、地域の人の理解や地域とのつながりが不可欠です。下妻市では、更生保護・福祉・教育など地域で活動している10団体で「第63回“社会を明るくする運動”下妻市推進委員会」を設置し、7月の強化月間を中心に理解促進活動等を行います。



法務大臣からのメッセージを稲葉市長に伝達する飯岡会長(右)

温かい善意ありがとうございます

6月23日、すゞなり会(小沼祭二代表)主催による「第5回チャリティー歌の祭典」が、市民文化会館の大ホールで開催され、出演者や来場者などから寄せられたチャリティー募金58,938円を「公民館の活動に役立ててほしい」と寄附いただきました。

「第5回チャリティー歌の祭典」より寄附



稲葉市長に寄付金を手渡す内山会長(中)と大木副会長(左)

6月4日、下妻市アマチュアゴルフ連盟(内山良彦会長)主催による「下妻市民ゴルフ大会」が、岩瀬桜川カントリークラブで開催され、参加者139名から寄せられたチャリティー募金42,713円を「市のスポーツ振興に役立ててほしい」と寄附いただきました。

下妻市アマチュアゴルフ連盟より寄附

夏の賢い節電で地球温暖化対策を実践しよう

東日本大震災以降、節電行動は定着しましたが、私たちには地球温暖化防止につながるライフスタイルへの変革が求められています。次世代への思いやりを動機として、生活や事業活動で実践できる取り組みを、まずは夏の賢い節電から始めましょう。

原子力発電所のほとんどが稼働していない今夏、電力の安定供給は達成できる見通しですが、これは普及した節電運動を想定したものであることから、「数値目標は設けない無理のない節電」が求められています。
※節電要請期間：7月1日～9月30日の平日(お盆を除く)

◆涼しさを分かち合う

涼しい場所にみんなで集まる「クールシェア」が推奨されています。電力需要が最大になる昼間の時間帯、家のクーラーを消して商業施設や図書館、砂沼サンビーチ、保養施設などで過ごすことで、社会全体として節電の効果を上げる取り組みです。暑さを我慢しないで心身のリフレッシュを図ってみてはいかがでしょうか。

◆新エネルギーを活用

太陽光発電等の新エネルギーは、再生可能エネルギーとして今後の普及が期待されています。また、震災で大規模停電が長時間続いた経験を踏まえ、各家庭に分散して設置される発電方式は災害対策としても有効です。平常時には節電対策になります。

【災害対策として太陽光発電パネルと蓄電池を設置】

大規模災害時に昼夜を問わず市庁舎の機能を維持することを目的に、今年6月に市役所第二庁舎に太陽光発電パネルと蓄電池を設置しました。停電時は災害対策本部に電力を供給し、平常時は電力使用のピークカットになる設備として運用していきます。

◆緑のカーテンを育てよう

「摘心」はお済みですか

緑のカーテンは室温上昇を抑え、節電に効果があることからチャレンジする方が増えています。緑のカーテンを扇状に成長させるよう「摘心」して子つる・孫つるの成長を促しましょう。親つるの先端部分を5cmくらいカットすることによって脇から新しいつるが伸び始めます。また、半月に一度、追肥もしましょう。一株あたりスプーン1杯(窒素・リン酸・カリウム含有量が8~10%)が目安です。



親つるの先端を「摘心」するのがポイントです



有料広告欄

有料広告欄